

平成27年度 下水道事業会計決算報告



平成28年度第1回

千葉市下水道事業経営委員会

平成28年10月31日（月）

建設局下水道管理部・下水道建設部

目次

1 事業の概況

(1) 総括事項	P.2
(2) 事業実績	P.3

2 会計制度

(1) 収益的収支と資本的収支の2本建て予算	P.5
(2) 公営企業会計の決算	P.6

3 平成27年度決算

(1) 収益的収入・支出	P.7
(2) 予算と決算の比較【収益的収入・支出】	P.8
(3) 資本的収入・支出	P.9
(4) 予算と決算の比較【資本的収入・支出】	P.10

4 財務状況

(1) 経営状況	P.11
(2) 損益計算書	P.12
(3) 貸借対照表（バランスシート）	P.13
(4) キャッシュ・フロー（CF）計算書	P.14

5 中長期経営計画の進捗状況

(1) 損益計算書	P.15
(2) 資本的収支	P.16

6 平成27年度決算における重点事務事業

(1) 重点事務事業の決算額	P.17
(2) 主要事業の実績	P.18

注1 単位未満を四捨五入で表示しているため、合計が一致しない場合があります。

2 本資料においては、千葉市下水道事業中長期経営計画（計画期間 平成22年度～平成32年度）を「中長期経営計画」と表示しています。

下水道は、

- **快適で衛生的な生活環境への改善**
- **雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全**

のため、欠くことのできない重要な都市基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。

本市では、公共下水道を千葉市新基本計画に基づく第2次実施計画において、

- **安全で災害に強いまちづくりの推進**
- **快適な生活環境の整備のために必要な施設**

として位置づけ、引き続き、

- ・ 浸水被害を軽減するための雨水対策
- ・ 水環境保全のための高度処理
- ・ 下水道施設の再構築
- ・ 汚水管きよ整備

を推進したほか、施設の老朽化や耐震化のための改築・更新や維持管理の充実などに努めました。

このうち、汚水管きよ整備については、行政区域面積27,208haの48.5%にあたる、13,191haを、全体計画面積と定め、これを中央、南部及び印旛の3処理区に分け整備を推進しています。

平成27年度末の事業計画面積は、13,121haで、このうち、12,268haが整備済みとなり、整備率は、93.5%となりました。

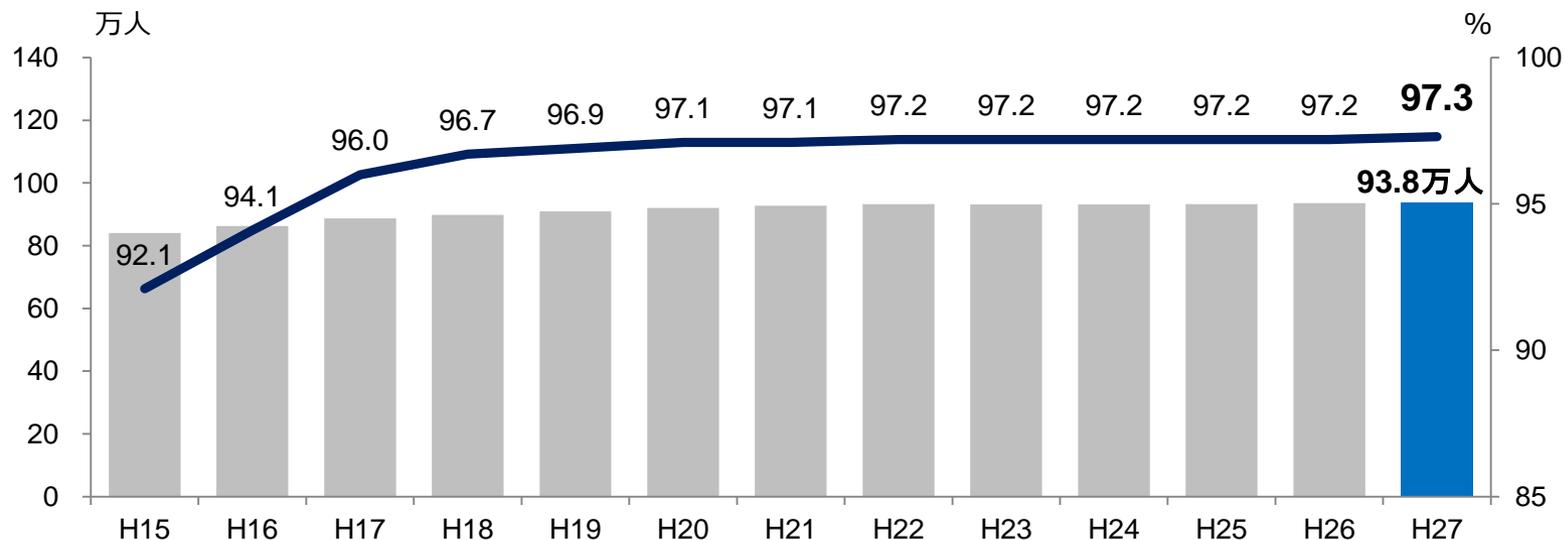
また、行政区域内人口964,830人に対し、整備区域内人口は、938,301人となり、下水道処理人口普及率は、97.3%となりました。

このうち、接続人口については、前年度より3,479人増加し932,565人となり、接続率は99.4%となりました。

この結果、年間処理水量は123,782千 m^3 、一日平均処理水量は338千 m^3 となっています。

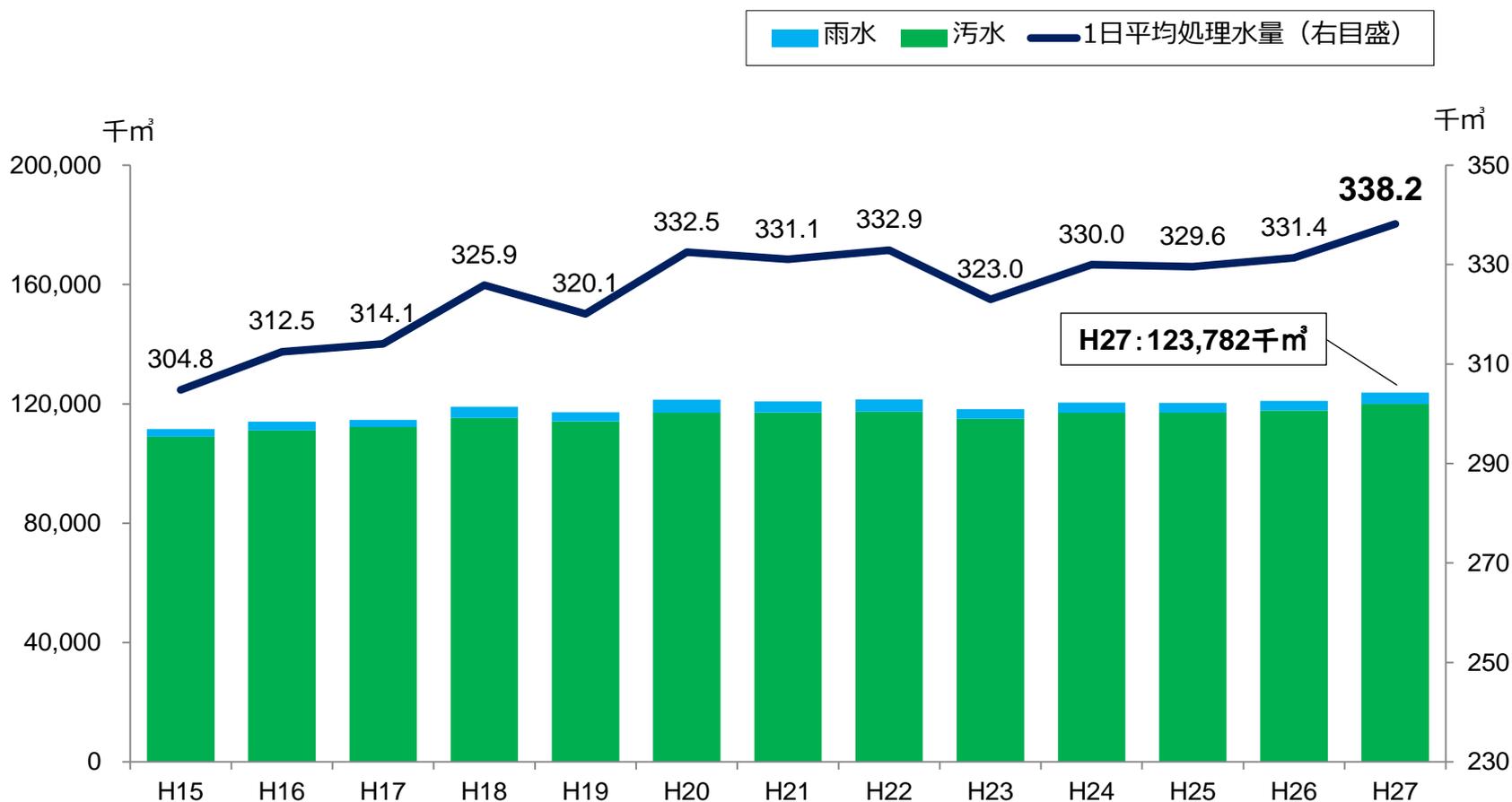
整備区域内人口・下水道処理人口普及率

■ 人口 ■ 普及率 (右目盛)



(2) 事業実績

年間処理水量・1日平均処理水量



普及率(%)=処理区域内人口÷行政区域内人口×100

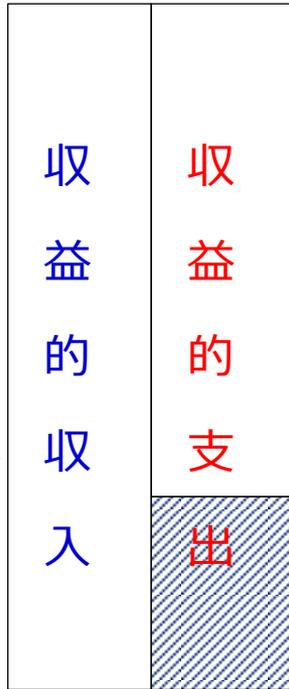
(1) 収益的収支と資本的収支の2本建て予算

地方公営企業法の財務規定を適用した、企業会計方式（複式簿記）による経理

〔公営企業予算〕 会計年度：4月～3月

消費税込み

収益的収支



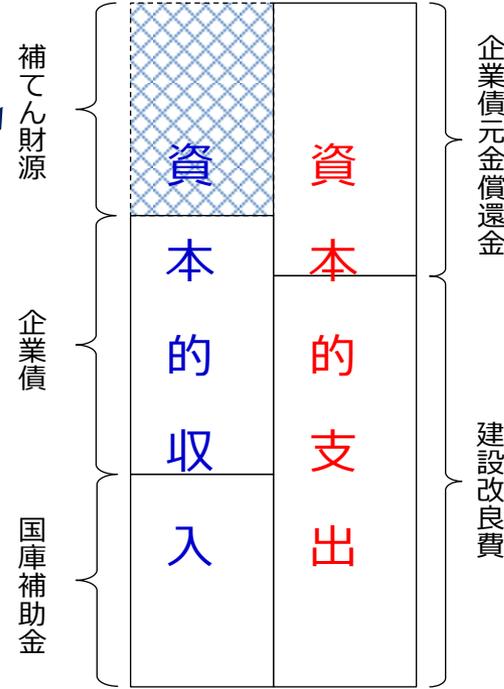
下水道使用料
など

管きよ、ポンプ場等
の運転・維持管理費
など

減価償却費等の現金支出
のない費用の計上や純利益
による内部留保資金を
資本的支出の財源に使用

事業の管理・運営による収支

資本的収支



管きよ、
ポンプ場等
の建設費・
改良費など

施設の建設・改良による収支

(2) 公営企業会計の決算



損益計算書(P/L)

1年間のすべての収益と費用を記載し、利益（又は損失）を表示【**経営成績**】

貸借対照表(B/S)

年度末時点において保有するすべての資産、負債及び資本を表示【**財政状態**】

キャッシュ・フロー計算書(C/F)

1年間の活動別の現金の出入を記載し、現金の増減を表示

費用	収益
営業費用	営業収益
営業外費用	営業外収益
特別損失	特別利益
利益	

資産	負債
固定資産	固定負債
流動資産	流動負債
繰延資産	繰延収益
	資本
	資本金
	剰余金

キャッシュ・フロー計算書

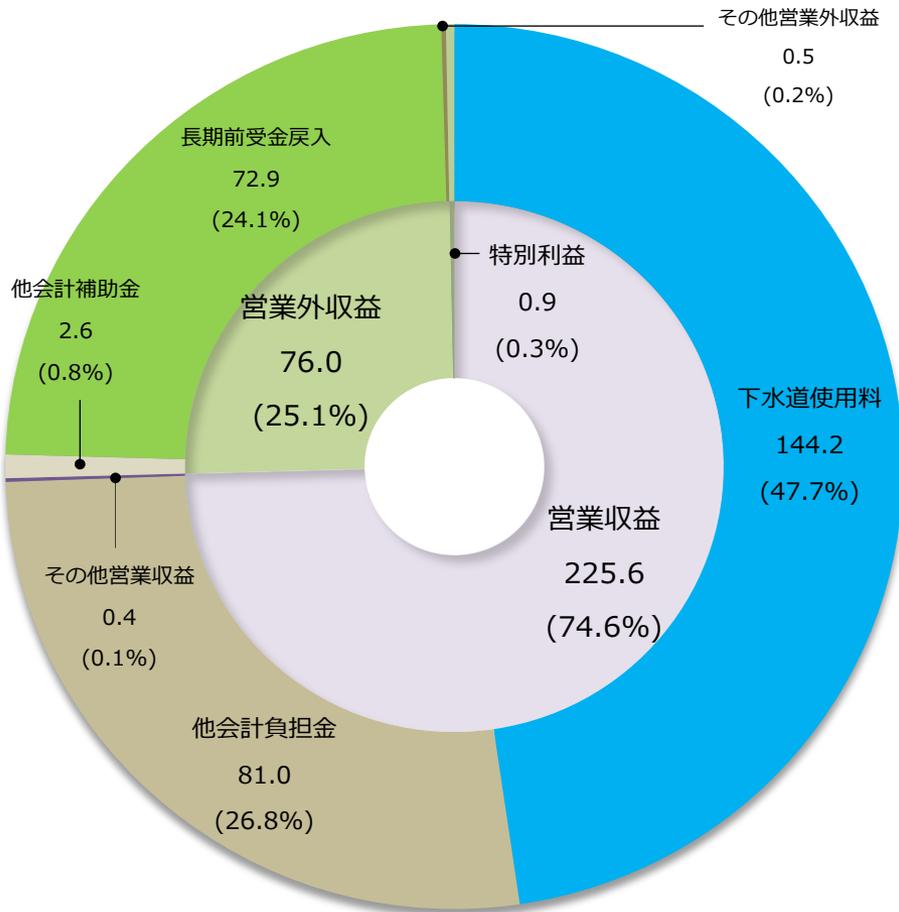
- 業務活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- 財務活動によるキャッシュ・フロー

資金増加額（又は減少額）
 資金期首残高
 資金期末残高

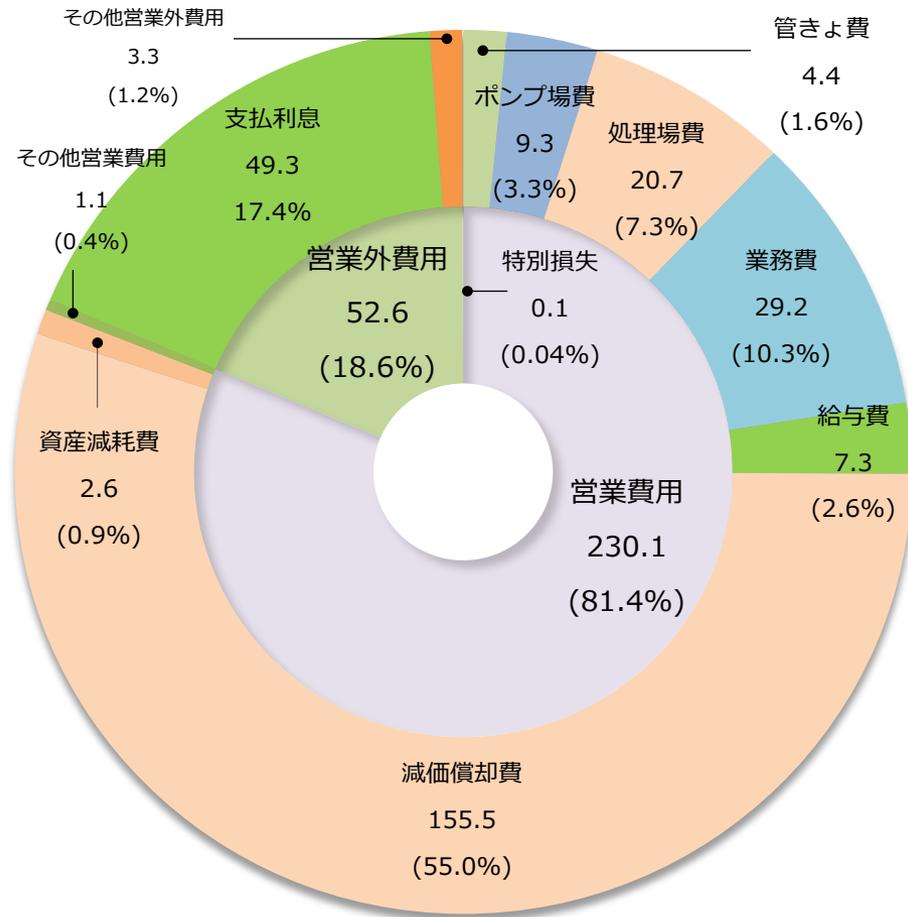
(1) 収益的收入・支出

億円(税込)

収益的收入 302.5億円



収益的支出 282.8億円



(2) 予算と決算の比較【収益的収入・支出】

3 平成27年度決算

(単位：百万円・税込)	予算額	決算額	増減額	収入率／執行率
1 収益的収入（下水道事業収益）	30,971	30,250	△721	97.7%
（1）営業収益	22,889	22,559	△330	98.6%
①下水道使用料	14,502	14,421	△81	99.4%
②他会計負担金	8,351	8,102	△249	97.0%
③その他	36	36	0	100.0%
（2）営業外収益	8,035	7,599	△436	94.6%
①他会計補助金	286	258	△28	90.2%
②長期前受金戻入	7,703	7,289	△414	94.6%
③その他	46	52	+6	113.0%
（3）特別利益	47	92	+45	195.7%
2 収益的支出（下水道事業費用）	29,813	28,277	△1,536	94.8%
（1）営業費用	24,390	23,007	△1,383	94.3%
①維持管理費	7,768	7,191	△577	92.6%
②減価償却費	15,573	15,554	△19	99.9%
③資産減耗費	1,049	262	△787	25.0%
（2）営業外費用	5,403	5,265	△138	97.4%
①企業債利息	5,015	4,930	△85	98.3%
②その他	388	335	△53	86.3%
（3）特別損失	10	5	△5	50.0%
（4）予備費	10	0	△10	0.0%

主な増減要因

一般会計が負担する費用の減（資産減耗費に係る除却資産の予定数量の減、企業債利息の予定借入利率の減など）

退職者数が予定を下回り、一般会計が補助する退職手当が減

撤去対象の資産が除却されず、除却に対応した長期前受金の収益化が減

印旛沼流域下水道維持管理負担金に係る予定汚水処理水量の減による負担金の減、包括的民間委託の燃料調整費等による委託料の減

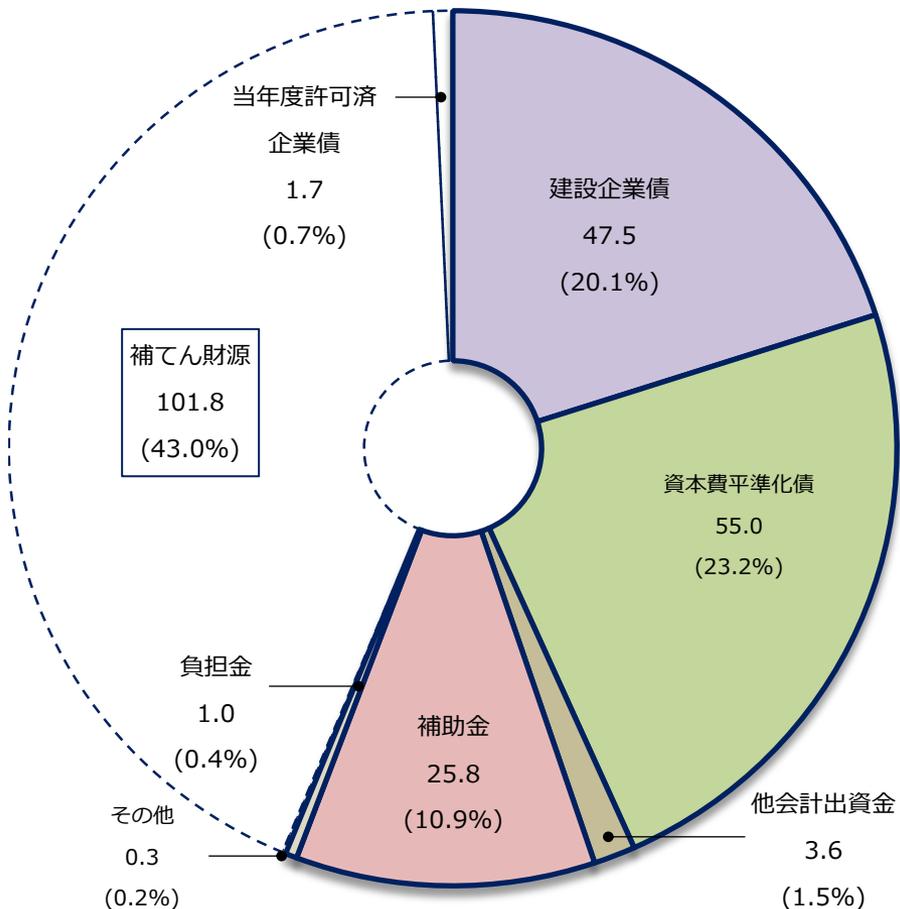
除却を伴う建設改良工事が翌年度に繰越（撤去対象の資産が除却されなかったため）

企業債の新規発行分の予定借入利率が減（予算1.5～2.0% 決算0.1～1.2%）

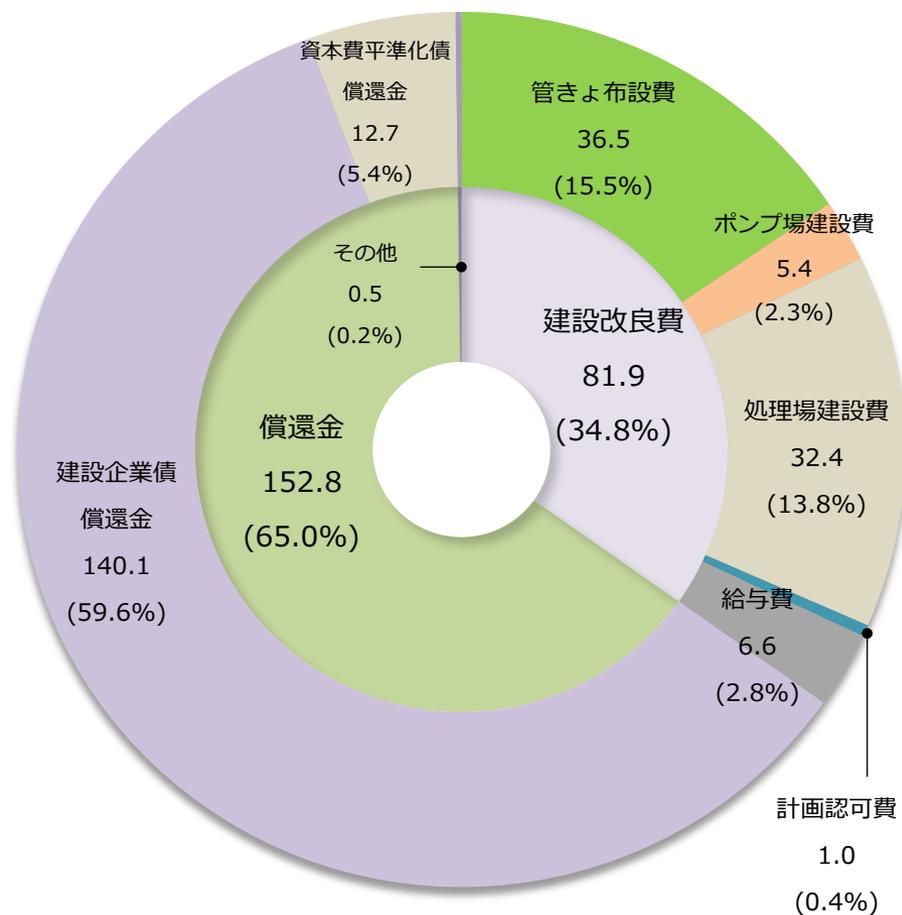
(3) 資本的収入・支出

億円(税込)

資本的収入 133.2億円



資本的支出 235.2億円



注1 資本的収入額が資本的支出額に不足する102億円は補てん財源等を使用

注2 建設企業債47.5億円に前年度分の許可済企業債1.5億円を含む

(4) 予算と決算の比較【資本的収入・支出】

3 平成27年度決算

(単位：百万円・税込)	予算額	決算額(注)	増減額	収入率/執行率
1 資本的収入	18,728	13,318	△5,410	71.1%
(1) 企業債	13,795	10,254	△3,541	74.3%
①建設企業債	8,240	4,754	△3,486	57.7%
②流域下水道負担金債	37	0	△37	0.0%
③資本費平準化債	5,518	5,500	△18	99.7%
(2) 他会計出資金	361	361	0	100.0%
(3) 補助金	4,389	2,581	△1,808	58.8%
(4) 負担金	139	98	△41	70.5%
(5) その他	44	24	△20	54.5%
2 資本的支出	28,747	23,515	△5,232	81.8%
(1) 建設改良費	13,362	8,186	△5,176	61.3%
①管きよ布設費	5,434	3,654	△1,780	67.2%
②ポンプ場建設費	1,079	534	△545	49.5%
③処理場建設費	5,922	3,235	△2,687	54.6%
④計画認可費	107	100	△7	93.5%
⑤給与費	820	663	△157	80.9%
(2) 固定資産購入費	75	46	△29	61.3%
(3) 償還金	15,277	15,277	0	100.0%
①企業債償還金	14,010	14,010	0	100.0%
②資本費平準化債償還金	1,267	1,267	0	100.0%
(4) その他	33	6	△27	18.2%

主な増減要因

企業債発行の対象となる建設改良費の減

国庫補助事業の対象となる建設改良費の減

・翌年度への繰越工事33.6億円
・建設事業の内容精査、入札差金等による不用額18.2億円

注1 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、補てん財源を使用
注2 建設企業債4,754百万円は、前年度分の許可済企業債154百万円を含む

補てん財源：現金支出のない費用や減債積立金等による内部留保資金

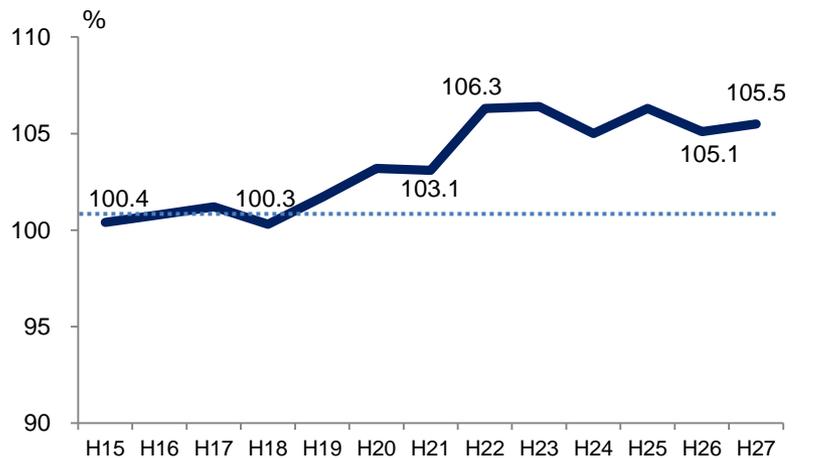
平成27年度の業績

金額は税抜き

- ◆ **当年度純利益16.1億円** (前年度比4.3億円増) ⇒減債積立金(企業債の償還財源)に積み立て
- ◆ **経常収支比率105.5%** (前年度比0.4ポイント上昇)
- ◆ **下水道使用料133.5億円** (前年度比0.6億円増) **有収水量95,630,589^m** (前年度比173,673^m増)
- ◆ **汚水処理費118.9億円** (前年度比0.6億円増) **経費回収率112.3%** (前年度比0.1ポイント低下)

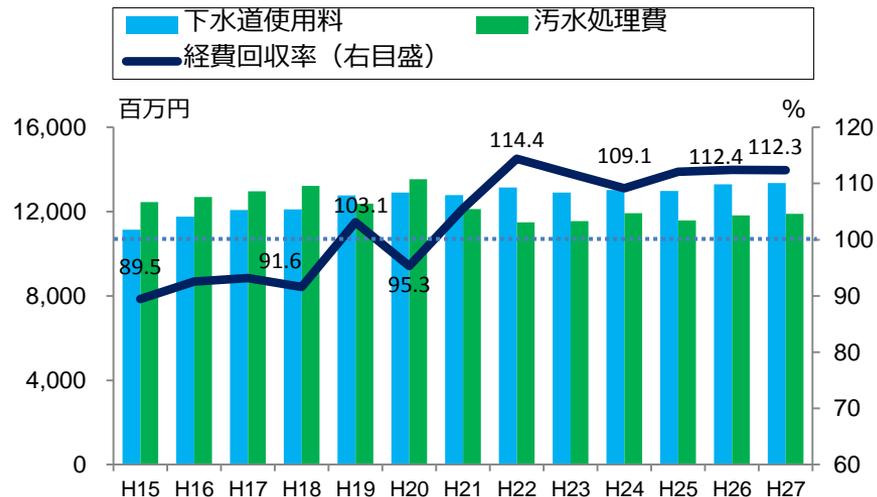
※下水道使用料の算定は、資金収支による原価に基づきます。

経常収支比率



経常収支比率(%) = (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

下水道使用料・汚水処理費・経費回収率



経費回収率(%) = 下水道使用料 ÷ 汚水処理費 × 100

(2) 損益計算書

(単位：百万円・税抜)	H26年度	H27年度	増減額	増減率
1. 営業収益	21,493	21,488	△5	△0.02%
2. 営業費用	22,712	22,537	△175	△0.8%
営業利益	△1,219	△1,049	+170	+13.9%
3. 営業外収益	7,886	7,602	△284	△3.6%
4. 営業外費用	5,247	5,026	△221	△4.2%
経常利益	1,420	1,527	+107	+7.5%
5. 特別利益	72	92	+20	+27.8%
6. 特別損失	313	6	△307	△98.1%
当年度純利益	1,179	1,613	+434	+36.8%
営業収支比率	94.6%	95.3%	+0.7ポイント	
経常収支比率	105.1%	105.5%	+0.4ポイント	

営業収支比率 (%) = 営業収益 ÷ 営業費用 × 100

経常収支比率 (%) = (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

(3) 貸借対照表 (バランスシート)

(単位：百万円・税抜)	H26年度	H27年度	増減額	主な増減要因
資産	486,907	482,843	△4,064	
1. 固定資産	480,445	475,883	△4,562	減価償却累計額の増
2. 流動資産	6,449	6,954	+505	現金預金残高の増、一般会計出資金に係る未収金の増
3. 繰延勘定	13	6	△7	
負債	444,946	437,293	△7,653	
4. 固定負債	235,654	230,475	△5,179	流動負債への振替（1年以内償還額）による減
5. 流動負債	20,687	21,039	+352	営業未払金の増
6. 繰延収益	188,605	185,779	△2,826	営業外収益（長期前受金戻入）への収益化による減
資本	41,961	45,550	+3,589	
7. 資本金	20,563	22,228	+1,665	一般会計からの出資による増、未処分利益剰余金の資本金への組入による増
8. 剰余金	21,398	23,322	+1,924	受贈財産の増（千葉県から管きよ等に移管）
自己資本構成比率	47.4%	47.9%	+0.5ポイント	

自己資本構成比率(%) = (資本金 + 剰余金 + 繰延収益) ÷ 負債資本合計 × 100

(4) キャッシュ・フロー (CF) 計算書

(単位：百万円)	H26年度	H27年度	増減額	主な増減要因
1. 業務活動によるCF	10,258	10,519	+261	当年度純利益の増
2. 投資活動によるCF	△5,397	△5,307	+90	有形固定資産の取得に係る支出の減
3. 財務活動によるCF	△4,246	△4,862	△616	企業債償還額の支出の増、 一般会計出資金の収入の減
資金増加額	615	350	△265	
資金期首残高	3,710	4,325	+615	
資金期末残高	4,325	4,675	+350	
フリーキャッシュ・フロー	4,861	5,212	+351	
業務CF対流動負債比率	49.6%	50.0%	+0.4ポイント	

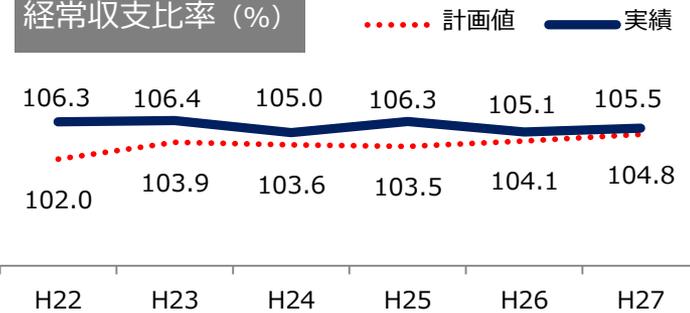
フリーキャッシュ・フロー = 業務活動によるCF + 投資活動によるCF

業務CF対流動負債比率 (%) = 業務活動によるCF ÷ 流動負債 × 100

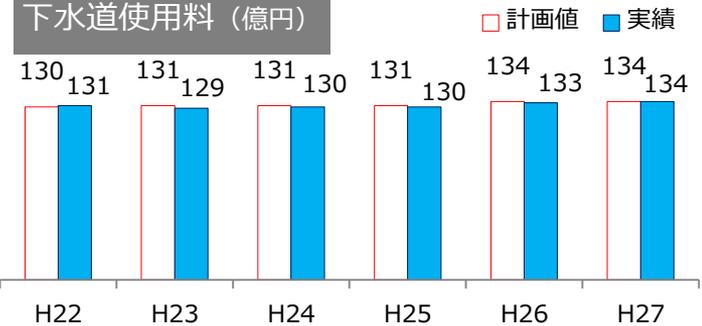
(1) 損益計算書

(単位：百万円・税抜)	平成27年度		
	計画値	決算額	計画対比
1 下水道事業収益	22,327	29,182	130.7
(1) 営業収益	21,965	21,488	97.8
①下水道使用料	13,352	13,353	100.0
②一般会計負担金	8,580	8,102	94.4
③その他	33	33	100.0
(2) 営業外収益	323	7,602	2,353.6
①長期前受金戻入	—	7,289	皆増
②その他	323	313	96.9
(3) 特別利益	39	92	235.9
2 下水道事業費用	21,396	27,569	128.9
(1) 営業費用	16,023	22,537	140.7
①維持管理費	7,040	6,721	95.5
②減価償却費等	8,983	15,816	176.1
(2) 営業外費用	5,241	5,026	95.9
①企業債利息	5,195	4,930	94.9
②その他	46	96	208.7
(3) 特別損失	132	6	4.5
当年度純利益 (△は損失)	931	1,613	173.3

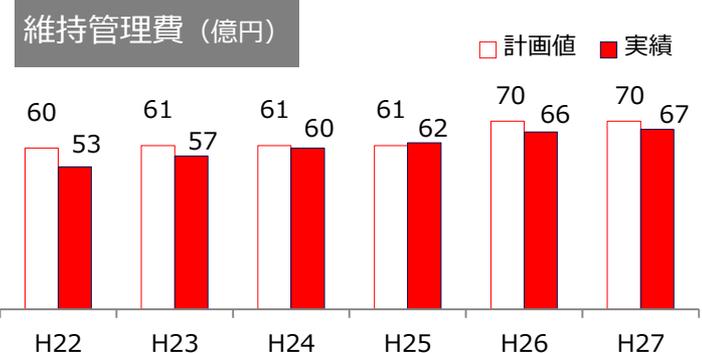
経常収支比率 (%)



下水道使用料 (億円)

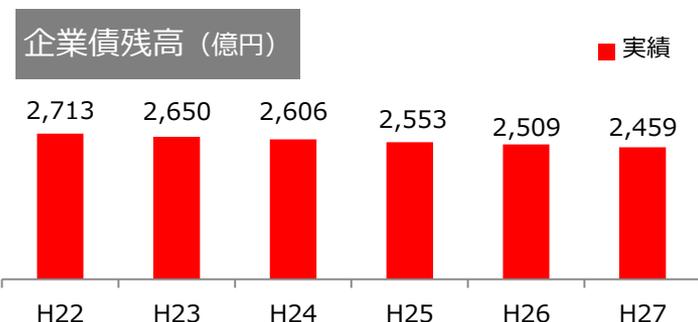
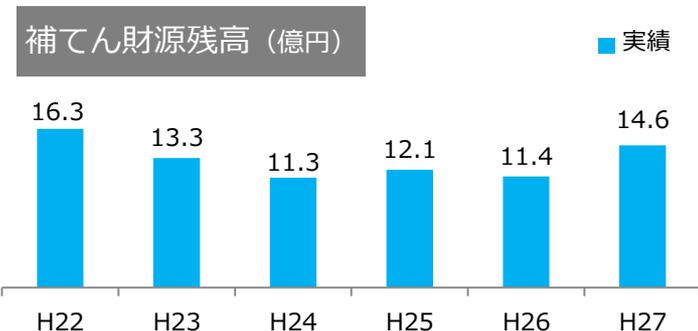
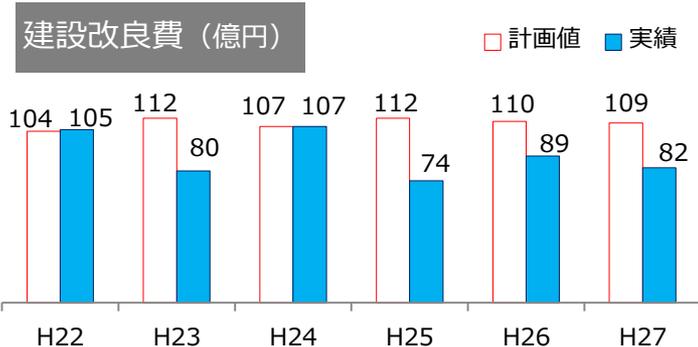


維持管理費 (億円)



(2) 資本的収支

(単位：百万円・税込)	平成27年度		
	計画値	決算額	計画対比
1 資本的収入	15,867	13,318	83.9
(1) 企業債	11,806	10,254	86.9
①建設企業債	6,368	4,754	74.7
②資本費平準化債	5,438	5,500	101.1
(2) 国庫補助金	3,508	2,546	72.6
(3) 一般会計出資金	367	361	98.4
(4) その他	186	157	84.4
2 資本的支出	26,205	23,515	89.7
(1) 建設改良費	10,890	8,186	75.2
(2) 企業債償還金	15,275	15,277	100.0
①建設企業債	14,008	14,010	100.0
②資本費平準化債	1,267	1,267	100.0
(3) その他	40	52	130.0
収入が支出に不足する額 (△)	△ 10,338	△ 10,197	98.6
企業債残高 (年度末)	250,470	245,851	98.2



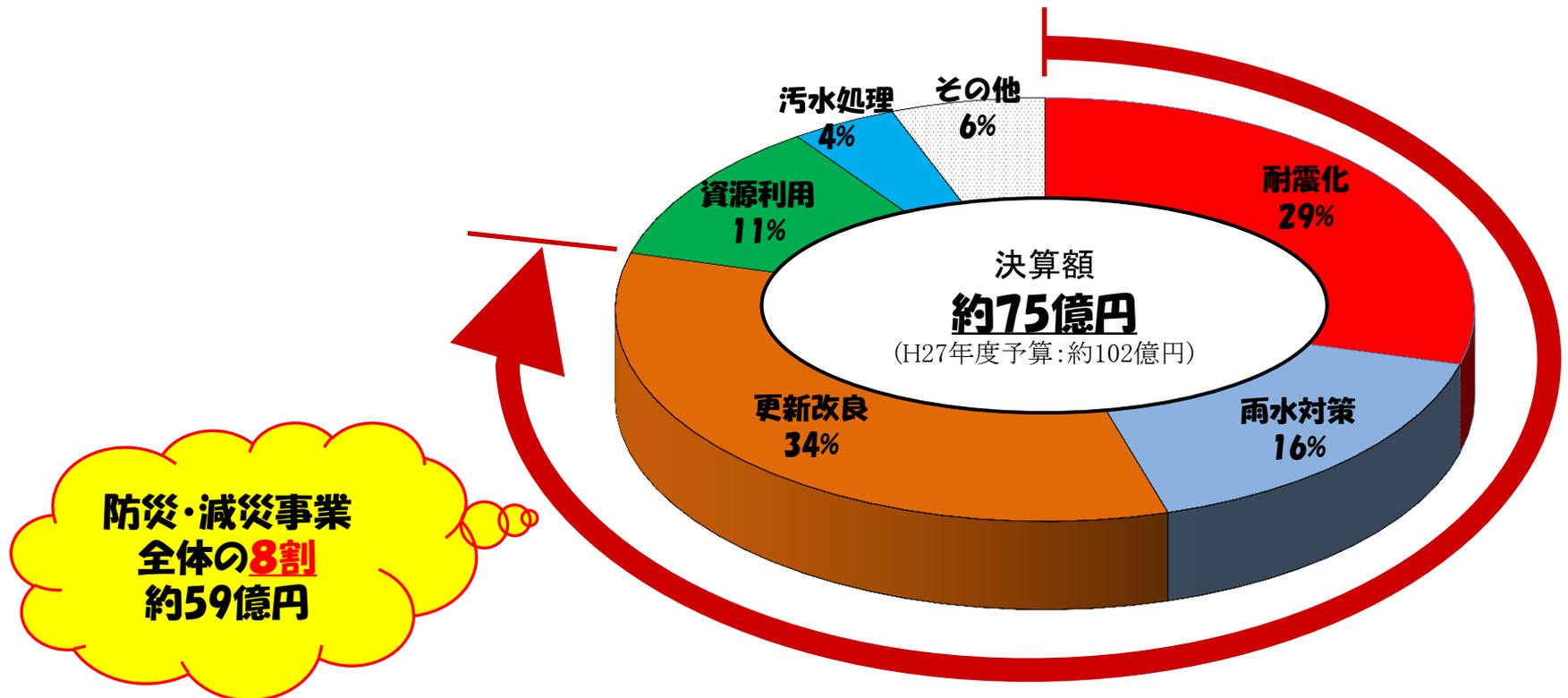
(1) 重点事務事業の決算額

6 平成27年度決算における重点事務事業

防災・減災事業を重点化！ ～安全・安心のまちづくりに向けて～

◆平成27年度決算額と施策毎の割合（％）

●平成27年度決算額 **1,487,132千円**（予算10,209,568千円）



(2) 主要事業の実績

◆主要事業

(1) 下水道施設の耐震化 2,185,080千円(予算3,127,967千円)

①管渠の耐震化 10.6km【耐震化率40%(41/102km)約4割完了】

美浜区：磯辺地区他 東日本大震災で被災した美浜区を重点的に整備
中央区：富士見地区他 液状化の危険性が高い地区を実施、緊急輸送路
下などの管渠を実施

②施設の耐震化 1箇所【処理場等の耐震化 5/6箇所完了】

村田雨水ポンプ場

③マンホールトイレの設置 11箇所(55基)【避難所となる小学校などにマンホールトイレ43/53箇所設置完了 215基/265基】

松ヶ丘小学校 他



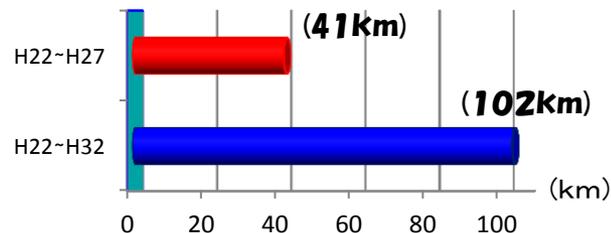
避難所でも安心して
トイレが使えます



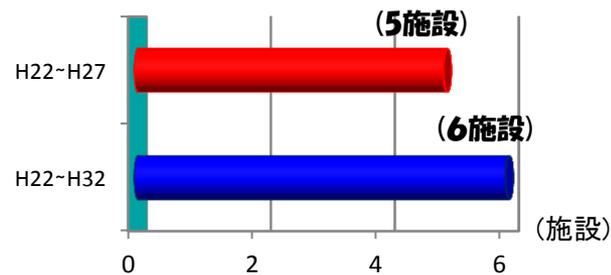
(マンホールトイレ)

下水道事業中長期経営計画(H22~H32)の進捗状況

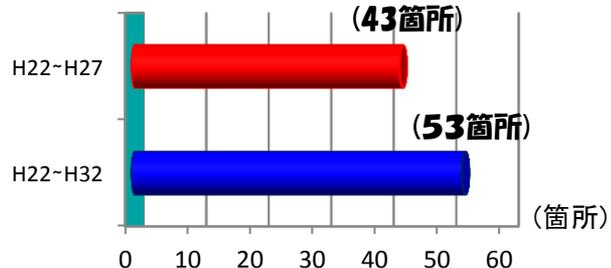
管渠の耐震化 整備延長



処理場・ポンプ場の耐震化



マンホールトイレ設置箇所数



(2) 主要事業の実績

(2) 雨水対策の推進 1,212,434千円 (予算1,201,505千円)

①雨水整備 0.2km (2地区を整備)【浸水対策 18/40箇所完了】

山王地区 他1地区

②浸透施設整備

轟地区

③助成制度

防水板設置費用の一部を助成



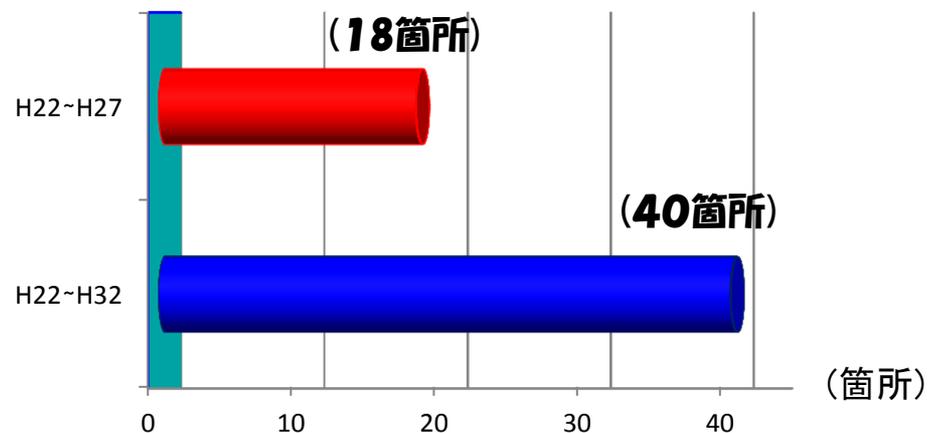
(防水板設置事例)



ハード対策に加え、
ソフト対策も行っています

下水道事業中長期経営計画(H22~H32)の進捗状況

浸水対策箇所数



(2) 主要事業の実績

(3) 下水道施設の更新・改良 2,539,141千円(予算4,135,513千円)

①浄化センター・ポンプ場設備の更新

中央浄化センター、南部浄化センター
高洲第二、幸、蘇我雨水、都ポンプ場



下水道の機能を
適正に維持します

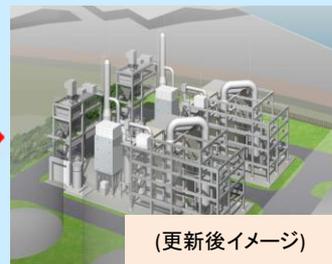


②南部浄化センター汚泥焼却炉の更新

(平成27年度～平成29年度 債務負担)

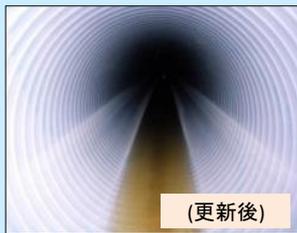


老朽化した焼却炉の
更新を行います



③管渠の改良 3.5km 【改築更新率21%(36/175km)約2割完了】

神明地区 他 7地区



道路陥没を未然に防止します

下水道事業中長期経営計画(H22～H32)の進捗状況

管渠の改良 整備延長



(2) 主要事業の実績

6 平成27年度決算における重点事務事業

(4) 資源及び施設の有効利用 817,759千円 (予算833,389千円)

①南部浄化センター

消化ガス発電設備工事 (平成26年度～平成27年度継続)



下水処理工程から出る
ガスを有効活用します



(5) 汚水処理施設の整備 298,828千円 (予算477,620千円)

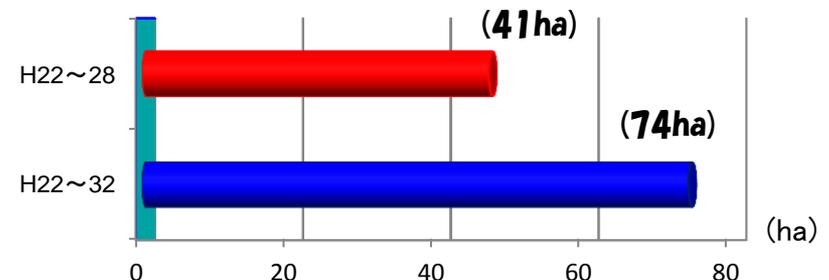
①汚水整備 7ha

【13地区を整備 汚水整備41/74ha完了】

武石地区 他 12箇所

下水道事業中長期経営計画(H22～H32)の進捗状況

汚水 整備面積





イメージキャラクター
「カフソン家」
左上：アクア（パパ）
右上：クリーン（ママ）
中央下：かわちゃん（女の子）